

7月の職員オススメ本

「さっと！つるっと！夏麺」 重信 初江／著 池田書店



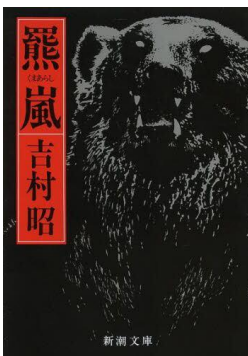
7月になり、北海道の短く暑い夏がやってきました。暑い夏に食べたくなるものの1つに、冷たい麺です。冷やしラーメン、そうめん、ひやむぎ、そばなど、様々な麺の種類がありますが、いつもの麺料理にアレンジを加えた【夏麺】で暑い夏を楽しみませんか？

「ウイルス」 真山 仁／著 潮出版社



未知のウイルスが突如日本を襲う—その緊迫感がページをめくる手を止めさせない一冊です。現実と地続きのような設定と描写が恐ろしいほどの臨場感を生み、読後には「これは本当に起きた出来事では」と錯覚するほど。登場人物たちの葛藤や恐怖、使命感が丁寧に描かれ、読者も共に最強のウイルスと対峙しているかのような緊張に包まれます。フィクションでありながら、現実社会への問いかけが胸に深く残る作品です。

「熊嵐」 吉村 昭／著 新潮社



北海道天塩山麓の開拓村を、突然恐怖の渦に巻き込んだ！頭の熊の出現。自然の猛威の前に打ちひしがれなすすべのない人間たち、ただ！人自然の摂理を知る老猟師が討伐に立ち上がり……。大正時代に北海道の開拓村で実際に起きた事件取材した圧巻の作品。静かで淡々とした描写が逆に事件の恐怖を際立たせます。自然と人間との圧倒的な力の差、自然を人間の価値観で判断するおそろしさを突きつけられます。